

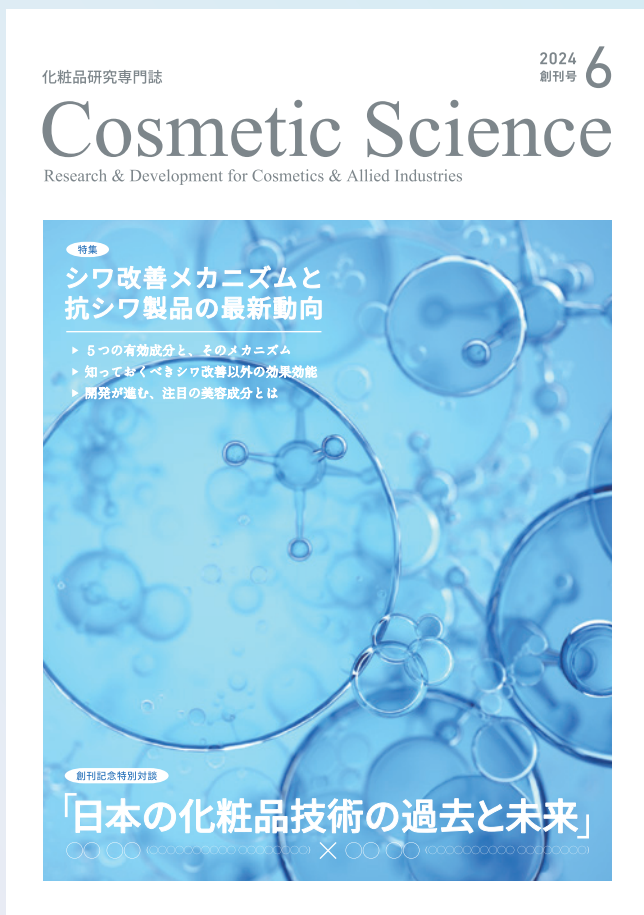
業界各方面からの多くの声にお応えして

化粧品研究専門誌『Cosmetic Science』

2024年6月 新創刊！

3月1日より購読者の募集を開始しました！

化粧品市場の動向を見据えた最新の研究成果をより早く、より分かりやすく！
化粧品研究の最前線で活躍する研究者を執筆陣に迎え、待望の創刊！



特集

シワ改善メカニズムと 抗シワ製品の最新動向

- 5つの有効成分と、そのメカニズム
- 知っておくべきシワ改善以外の効果効能
- 開発が進む、注目の美容成分とは

創刊記念特別対談

「日本の化粧品技術の 過去と未来」

○○ ○○ (○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○)
×
○○ ○○ (○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○)

今後、掲載を予定している特集・連載テーマ

AIを活用した化粧品開発 / 角栓ケアに着目した新技術と素材開発 / 油系クレンジングの開発動向 / サン
スクリーン剤の新技術と素材開発 / ゲル化剤の開発動向と化粧品への応用 / 記憶に残る香りと心理効果 /
光老化の最前線 / 化粧品容器の環境対応における最新動向 / 粘土鉱物の化学 / 官学の共同研究の今

(※変更となる場合がございます)

創刊の理念

以下の3点を推進し、日本の化粧品研究の発展に寄与することを基本理念とします。

1. 化粧品科学における基礎的知見の集積と発信力の向上
2. 第一線で活躍する研究者及び若手研究者の発表の機会創出
3. 産・学連携の促進と化粧品研究における大学教育の支援

編集の基本方針

日本の化粧品科学の最新情報を公平・公正に編集し、以下①～③を達成することを基本方針とします。

1

本誌の読者を研究開発に従事する学術関係者に限定することなく、化粧品業界に携わる多くの関係者にご愛読頂ける学術専門誌を目指します。

2

化粧品メーカー、原料・香料メーカー、各種大学などの企業や教育機関の多様な研究成果を偏りなく情報収集し企画・編集に生かします。

3

掲載論文をデジタルアーカイブ化し情報の活用性を高めていくことを念頭に、中長期的な視点での企画・編集を行います。

有力WEBサイトとの連携を進め、より広く長く役立つ学術誌へ

目的

日本の化粧品業界における学術情報の発信力を高め、国際競争力強化に貢献します

体制

新創刊準備委員会(P4参照)の支援を受け、編集部が主体となり、特集企画及び執筆依頼を行います



■ 各号の基本構成(予定)

- 巻頭言
- 第1特集(テーマ別論文8~10件)
- 第2特集(産学連携事例紹介)
- グローバルトレンド情報
- 各国規制の現状
- 中国市場の最新動向
- ビューティーサイエンティストのコラム

3月1日より購読者の募集を開始しました!

購読のお申し込み ▶



広告出稿企業登録 ▶

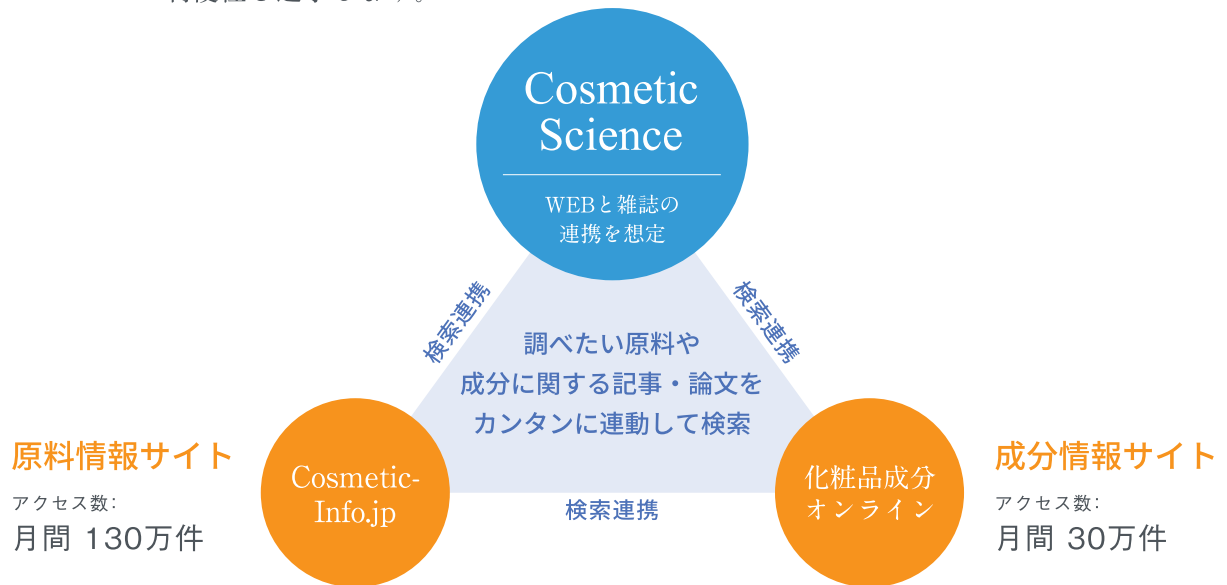


構想

1

業界有力サイトとの連携とデジタル会員制の導入

毎月掲載される論文をデジタルアーカイブ化し検索閲覧性を高めると同時に下記の図に示した通りCosmetic-Info.jp(月間130万アクセス)、化粧品成分オンライン(月間30万アクセス)との連携を図り、多くの研究者に対して閲覧機会の飛躍的向上と圧倒的な利便性を追求します。



構想

2

大学への無償配布で研究人材の育成を支援

国内約70の大学の化粧品開発・研究に関連する学部やコースに毎月無償で配布。将来、掲載論文がデジタルコンテンツ化できた際には、対象となる全学生にID・パスワードを提供しネット上で論文を自由に閲覧できる環境を整備します。これにより、日本の化粧品研究の次世代を担う学生たちの教育環境向上、人材育成の産学連携に貢献します。



構想

3

海外の化粧品業界メディアとの連携

中国、韓国の化粧品業界主要メディア(中国:3社、韓国2社)とのコンテンツ交流を積極的に行い、海外のオンライン閲覧者獲得を目指すとともに、学術ウェビナーの開催を通して海外の研究開発情報の集積と発信を促進する役割を担います。



ご賛同・ご協力の声を多数いただいています！

元株式会社コーセー
常務取締役 研究所長
内藤 昇 氏

フレグランスジャーナルは、入社以来業界の技術情報に接する事が出来る、意義ある雑誌でした。今回の廃刊に伴い、その意義を継承される創刊号が計画されている事は、大変喜ばしく思います。今後の新生雑誌に大いに期待したいと思います。

株式会社ポーラ・オルビス
ホールディングス
執行役員
末延 則子 氏

化粧品は皮膚科学、界面科学、材料科学、心理学など数多くの科学技術の集合体です。また、今後は医療との融合もますます加速すると考えています。そのような中、様々な分野を横断的に理解できる専門誌として、今回創刊される雑誌は非常に有意義であり、紙面上でイノベーション(新結合)が生まれることを楽しみに、また微力ながらその一翼を担えたらと思います。

ビューティー
サイエンティスト
岡部 美代治 氏

美容情報があふれる現在において一定の社会的信頼性のある美容情報の発信は、美容に関わる人々にとって重要です。新創刊誌は主に化粧品科学における旬の知見を発信し、役立つデータベースを目指せばきつと役立つはずで。

一般社団法人化粧品成分
検定協会代表理事
神奈川工科大学客員教授
久光 一誠 氏

原料、処方、皮膚科学、評価など幅広い分野にわたる化粧品科学のトレンドを知ることができる化粧品科学専門誌の誕生に大いに期待しており、Cosmetic-Info.jpと化粧品成分オンラインは全面的に協力します。

新創刊準備委員会 構成員一覧

元株式会社資生堂 代表取締役副社長	島谷庸一
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス 執行役員	末延則子
日光ケミカルズ株式会社 中央研究所 東京理科大学客員教授	鈴木敏幸
元日本化粧品工業連合会 技術部長	高野勝弘
元株式会社コーセー 常務取締役 研究所長	内藤昇
花王株式会社 研究開発部門 上席主任研究員	早瀬基
武庫川女子大学 薬学部 特任教授	平尾哲二
元花王株式会社 執行役員 スキンケア研究所長	細川均
一般社団法人SSCI-Net 理事長 藤田医科大学名誉教授	松永佳世子

2024年2月現在

新創刊準備委員会設立発起人

株式会社ソフィアリンクス 代表取締役 三原誠史

委員会事務局

ビューティーサイエンティスト	岡部美代治
一般社団法人化粧品成分検定協会代表理事 神奈川工科大学客員教授	久光一誠
一般社団法人日中化粧品国際交流協会 理事長	楊建中

Cosmetic Science サイト ▶



現在、新創刊準備委員会事務局は、株式会社ソフィアリンクスのCosmetic Science事業部内に設置されております。

会社：株式会社ソフィアリンクス
住所：東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー4F